

# 介護保険負担限度額認定の申請について ～施設サービスの自己負担分の軽減制度～

特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設の施設サービスを利用された場合、食費・居住費は原則自己負担ですが、住民税非課税の方は、申請することによって負担を軽減する制度があります(負担限度額認定)

対象となるのは、次の①～③を**全て**満たす人です



①所属する世帯の**全員**が住民税非課税者であること

②配偶者が住民税非課税者であること

※別世帯・内縁関係の配偶者も含みます

③本人の対象資産が**1000万円以下**であること  
(配偶者がいる場合は、本人・配偶者合わせて  
**2000万円以下**であること)

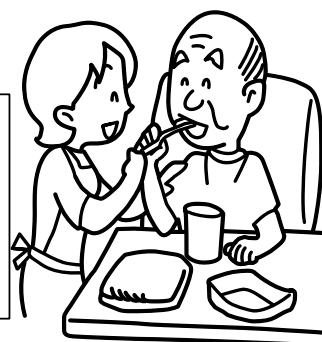
※対象資産については、「給付要件の対象となる  
資産について」に記載しています

軽減を受けるには、申請が必要になります

┌  
├ ・申請書  
├ ・同意書(申請書裏面)  
└ ・対象資産の確認資料  
を揃えて、市役所・支局・市民センターへ申請してください

問い合わせ先  
新見市 福祉部  
介護保険課 保険管理係  
(0867) 72-3148

〒718-8501  
岡山県新見市新見310番地3



## 負担限度額認定による軽減の対象となるサービス

負担限度額認定を受けている方は、

<b>特別養護老人ホーム</b> <small>(介護老人福祉施設)</small> <b>老人保健施設</b> <b>介護療養型医療施設</b> <b>介護医療院</b> のいずれかに	<b>入所</b> もしくは <b>短期入所</b> <small>(ショートステイ)</small> している間の	<b>食費</b> と <b>居住費</b> <small>(部屋代)</small> が軽減されます
--	--	---

また、所得等に応じて下記の1～3段階の利用者負担段階にわかれ、それぞれ上限額が決まります

第1段階	老齢福祉年金受給者・生活保護受給者など
第2段階	「合計所得金額＋年金収入額」が年額80万円以下の方
第3段階	「合計所得金額＋年金収入額」が年額80万円を超える方

各利用者負担段階ごとの負担限度額(利用者が負担する額)は以下のとおりです

軽減を受けない場合の  
自己負担額の目安※

1日あたりの費用(円)		第1段階	第2段階	第3段階	基準 費用額
居住費	ユニット型個室	820	820	1,310	1,970
	ユニット型個室的多床室	490	490	1,310	1,640
	従来型個室 <small>(特別養護老人ホーム・ 介護老人福祉施設)</small>	320	420	820	1,150
	従来型個室 <small>(老人保健施設・ 介護療養型医療施設・ 介護医療院)</small>	490	490	1,310	1,640
	多床室	0	370	370	* 370
食費		300	390	650	1,380

\*…特別養護老人ホーム・老人福祉施設は840

※「基準費用額」は、国が定めている平均の費用の額です

※※負担軽減を受けない場合の費用は、施設ごとに決められていますので、実際の額とは異なる場合もあります。詳細は各施設に確認をお願いします

**対象となるもの** ...以下の確認資料等を添付して申請してください

**預貯金**

普通預金 定期預金 等

定期預金等も  
含みます

**通帳のコピー**を確認資料として添付してください

※同じ金融機関に複数口座がある場合や、複数の金融機関に口座がある場合には、それら**全て**が申告の対象です

**現金**

**申請書**の「その他」欄に金額を記載してください

**有価証券 投資信託**

株式 国債 地方債 社債 投資信託等

信託銀行、証券会社や銀行等の申請日時点での**口座残高の写し等**を添付してください

**金・銀などの貴金属**

積立て購入含む、購入先口座残高により時価評価額が容易に把握できるもの

購入先の銀行等の**口座残高の写し等**を添付してください

**負債**

借入金・住宅ローン等がある場合、その額を資産額から差し引きます

**借用証書の写し**(貸し付け額・返済期限、署名・捺印があるもの)を添付してください

※ただし、自営業者など事業にかかる負債については、個人名義であっても対象負債とはみなしません

**配偶者がいる場合は、配偶者名義のものも申告の対象となります（内縁関係の場合も含みます）**

**対象とならないもの** ...申請する必要はありません

土地 家屋 自動車 生命保険(貯蓄性のある物含む) 絵画・骨董品など  
ゴルフ場会員権 腕時計・宝石等時価評価額の把握が困難な貴金属

# 通帳のコピーをお取りいただくときのお願い

以下の  
2箇所

と

定期預金  
ページ  
もしくは証書

をコピーしてください

口座名義人 ■ ■ ■ ■      ○○銀行  
普通口座  
口座番号      ~ ~ ~

通  
帳  
見  
本

通帳の表紙を  
一枚めくったところ

年月日	摘要	お支払い	お預かり	差引残高
28-5-1	ATM出金	○○		□□
28-5-10	振込		○○	□□
28-6-15	国民年金		○○	□□
28-6-24	利息		○○	□□
28-7-5	電気	○○		□□
28-7-5	水道	○○		□□
28-7-17	ATM出金	○○		□□
28-7-21	振込		○○	□□

現在の残高が記載され  
ているページ

## 注意事項

○申請日の直近の残高がわかるよう、必ず事前に記帳してから申請してください  
※最終記帳日から申請日まで日数が経過している場合には、記帳の上で御提出をお願いすることがあります

○ページが変わったばかり、通帳が新しく切り替わったばかりなどの場合は、最終記帳日や申請日からみて2ヶ月前からの出入りが分かるようにさかのぼってコピーしてください

○複数口、もしくは複数金融機関に口座をお持ちの場合には、その全ての口座に関して、コピーを添付してください

○ご夫婦の場合には、ご夫婦お二人ともについて資産等の申告が必要となります

○定期預金・出資証券等もお持ちの場合には、定期預金のページ(もしくは定期預金証書等の写し)も、必ずコピーを添付してください

申請書・同意書欄・添付書類に不備・不足がある場合には、申請を受け付けできないことがあります。全ての書類を揃えてからご提出をお願いいたします